

令和 7 (2025) 年度 事 業 計 画 書

一般財団法人ざぶん環境・文化プロジェクト

代表理事 林 香君

「生命の源、海や水への想いを伝えようプロジェクトざぶん賞」及び
「地球丸ごと考えて、行動しようプロジェクトざぶん SDGs 大賞」の事業計画詳細について

記

1. 事業の目的

本事業は、小中学生の段階から、生命の源であり、我が国の大切な資源である海や水により関心を持ち、安全や環境保全に関する知識と、命や自然を大切にする行動意識を高めてもらう、社会・環境教育を目的としております。

海や川には国境がなく、海域での国際紛争の顕在化など諸問題も広範囲に及び事業を実施するにあたり、単独県の関係団体や自治体だけでの活動では、効果が乏しく、地域を越えた賛同者の活動の拡がりにより事業を発展的に、継続させることが重要と考えています。

その一環として、これまで小中学生を対象とした「ざぶん賞」を実施していましたが、更にコロナ禍の中で、中高校生を対象とした新規事業として、「ざぶん SDGs 大賞」を設立して 5 年目を迎えます。協力して海や川、地球に対する愛情、そして地域活動など、幅広い年齢層を取り込みながら地域活性化にもつながる取り組みに光を当て表彰をします。学校単位のみでなく、行政や公的団体、児童養護施設、児童館、図書館、公益団体、公民館等、小中高生から高齢者まで、幅広く拾い上げることに重きを置き、地域全体の取り組みにも光を当て、一人も取りこぼさないことを目標にします。

2. 主催行事等の名称及び概要

① 「生命の源、海や水への想いを伝えようプロジェクトざぶん賞 2025 (第 23 回) 」

- ・ 全国小中学生を対象に、生命の源である海や水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙を公募・選考し、賞を与える。
- ・ 2025 年度の締め切りは 2025 年 9 月 6 日を予定。ざぶん賞 HP 内のフォームから入力し、応募する。

- ・ 優秀作品に対しては、ざぶん大賞 1 点、国土交通大臣賞・環境大臣賞・文部科学大臣賞・水産庁長官賞・海上保安庁長官賞各 1 点を含め、準大賞・審査員特別賞 10 点、ざぶん環境賞 10 点・ざぶん文化賞 10 点等、約 30 受賞作品とし、作家によって作品化。
- ・ 特別招待として特別支援盲学校・特別支援聾学校卒を設置 (2022 年度より新規)
- ・ 選考委員は審査委員長として檀太郎氏・檀晴子氏 (エッセイスト)、教育関係・メディア関係等により選考し、デジタル集計後、賞候補の選定をし、各省庁賞については、選考にも加わっていただき、最終協議の後に決定する。
- ・ 選考結果は 12 月始め頃、アート化された作品を撮影し、プレス発表をする。2025 年度は栃木県展示会期中にて、作品展示。2025 年度全国表彰式をざぶん発祥の地である白山市にて行う予定。(ざぶんHP 内にて都度更新)
- ・ 参加費は無料。

② 「地球丸ごと考えて、行動しようプロジェクトざぶん SDGs 大賞 2025 (第 5 回)」

- ・ 全国の小中高校生を含む団体を対象に、海と水と、SDGs 等を中心に据えて、地域文化・国際・Glocal・環境・児童憲章等の分野に関する活動について広く公募する。
- ・ 2025 年 9 月 6 日 エントリーの締め切りとする。メールで提出または応募フォームから入力。10 月 6 日までに詳細を提出。
- ・ 活動支援対象に合致する団体に活動支援助成を行う。地域文化 SDGs 賞・環境 SDGs 賞・GLOCALSDGs 賞・国際 SDGs 賞、児童憲章 SDGs 賞を表彰し、活動支援をする。
新規企画案件は 3 ~ 5 カ年計画を提出する。
- ・ 優秀な活動に対しては、さらに国土交通大臣賞・環境大臣賞・文部科学大臣賞・水産庁長官賞・海上保安庁長官賞を省庁の承認を得て、冠賞として授与する。
- ・ 優秀な栃木県の活動に対しては、栃木県知事賞の授与の実績も加わる。
- ・ 副賞には、活動持続支援金補助を行う。詳細は活動支援金の前年度の協賛金を当てる。
- ・ 審査は、審査委員長として栃木県子ども総合科学館長・市町村教育長、下野新聞社編集局長・企業選出委員・福祉関係者など選考基準を多角的に行う。一次選考・二次選考・最終選考、12 月末に発表を行う。その後、省庁の承認を得て、表彰状申請を行う。

3. 行事の主催・共催者

主催 一般財団法人 ざぶん環境・文化プロジェクト

共催 公益財団法人 とちぎ未来づくり財団

白山商工会議所

クリエイティブレインボープロジェクト

展示会 「ざぶん賞&ざぶん SDGs 大賞 2025」展

事業報告書 全事業の冊子『ざぶん 2025』の発行 国会図書館収蔵

後援名義使用期間

自 承認日 至 令和 8 (2026) 年 3 月 25 日

場所 展覧会 / 地区表彰式 案

栃木子ども総合科学館・・・令和 7 (2025) 年 12 月

全国表彰式

石川県白山市 令和 8 (2026) 年 2 月

4. 大臣・長官賞・県知事賞・交付申請等・・・ 2025 年度

後援：国土交通省・文部科学省・環境省・水産庁・海上保安庁

各道府県教育委員会・・・R 7 年 3 月現在全国 37 道府県が承認。

賞状の交付：『ざぶん賞』&『ざぶん SDGs 大賞』の双方に以下の賞の交付申請予定。

環境大臣賞・文部科学大臣賞・水産庁長官賞・・・各 2 枚

国土交通大臣賞・海上保安庁長官賞・・・各 1 枚 / 2024 年度実績より

県知事賞 (ざぶん賞 / 石川県・栃木県の準大賞以上の受賞者のみ)

/ 2024 年度実績計 6 枚

(省庁の賞 / 省庁賞の承認受賞団体のみ)

市町長賞 / 2024 実績 壬生町長賞 壬生町教育長賞

5. 当財団の賞の内容

事業① 「生命の源、海や水への想いを伝えようプロジェクトざぶん賞 2025 (第 23 回) 」

ざぶん大賞 (1) ・ 準大賞 (4) ・ ざぶん環境賞 (10) ・

ざぶん文化賞 (10) ・ 審査員特別賞 (1) ・ 他、年度によって増減あり。

事業② 「地球丸ごと考えて、行動しようプロジェクトざぶん SDGs 大賞 2025 (第 5 回) 」

審査委員特別賞・地域文化 SDGs 賞・環境 SDGs 賞・GLOCALSDGs 賞

国際 SDGs 賞・児童憲章 SDGs 賞

6. 財団のその他の環境社会教育事業

コロナ後、教育現場が正常化したため、定款に従い、環境社会教育を 2024 年度より、本格的に開催始め、2025 年度も引き続き実施

以下、定款より

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 創作文や絵画の公募、編集、出版

(2) 環境社会教育の実践

- (3) 環境社会教育事業の受託
(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
2 前項の事業は、日本全国において行う。

事業③

① クリエイティブレインボープロジェクト事業・・・環境社会教育事業

国際ソロプチミスト宇都宮推奨事業

◎壁画制作（東日本大震災後、宮澤賢治の物語を中心に展開）

全員で一つの壁画を制作する壁画プロジェクト（All for One One for All）。

宮沢賢治の作品を3.6m×90cmの壁画に仕上げていく事業。こども医療センター・児童館・市庁舎・学校内などに展示。

場所 とちぎわんぱく公園・・・令和7年8月23日、24日

日光市大谷川公園・・・夏休み期間を予定

石川県白山市、栃木県壬生町・・・予定

地震の被災地 / 石川県珠洲市（1か所）・岩手県陸前高田市（1か所）

展示 「ざぶん賞&ざぶんSDGs大賞2025」にて展示。

◎七色土玉（考えるを形に！）年間30講座・・・医療との連携

。特別支援盲学校からスタートした七色土玉プロジェクトは、ゼロから創作する楽しみを誰でも体験でき、自己肯定感と感性を育成するものです。

場所 栃木県療育センター&自治医科大学子ども医療センター

宮城県仙台市宮城野区障害者福祉センター

城山西小学校令和7年11月26日～12月2日

栃木県立博物館 令和7年12月16日～24日予定

特別支援盲学校・聾学校

児童養護施設・子どもの居場所・壬生町児童館

陸前高田市・珠洲市・・・など

国立新美術館

展示 「ざぶん賞&ざぶんSDGs大賞2025」にて展示。

② SDGs教室（「ざぶん2024」参照）・・・環境社会教育事業

◎ごみ焼却熱を再利用するグリーンエネルギー・・・七色土玉プロジェクトと共に開催。

発生する熱から発電し、そのエネルギーを利用し、新たな創作に繋がることを学ぶ。

また、環境社会教育事業の一環として、アクトリーR&Dセンターがエコビレッジ構想の実現を目指し研究・開発を進めているアワビやフグの養殖・熱帯植物育成などを見学することで、資源循環型社会についても学ぶ。

創造を通して環境を学ぶ 2025 年度講座、ざぶん関連事業 7 講座

共催：宇都宮陽南ロータリー・栃木県国際交流協会

協力：アクトリーR&D センター

事業④

① 連携ネットワークの構築・・・桜ライン 3.11 応援団

◎記念植樹・・・宇都宮陽南ロータリー / ネバーランド予定

◎栃木県立白楊高校、北稜高校、青森県立農業高校など

◎福井県立大野高校、西宮市立山中学校・宇都宮市立城山西小学校などの連携し、
桜の苗木・・・栃木県修景協会指導連携

②絵本の編集制作